



# 遠藤ひろし

27年  
3月  
活動報告  
第7号

## 県政発展と地域振興

### 県政報告

県議会議員 遠藤浩の信条は、「地域の振興は、県政発展の基礎」。直面する課題解決に対して真摯に取り組んでいます。歴史に学び、先人を敬う政治は、新たな課題にも柔軟な対応をいたします。

#### 第5回 県政報告会

3/28(土) PM6:00 JA西八代3階ホール

いあいさつ

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

横内知事から後藤新知事へスムーズな移行がなされ、2月定例山梨県議会が開会しました。地方創生元年の新年度へは、新知事とともに新たな時代へ向かう期待感と緊張があり活発な議論が交わされました。横内知事のもとで芽生えた山梨発展の芽を新知事とともに育て、県民の皆様とともに推進していく新しい時代への動きを感じました。地域の振興は県政発展の基礎。町と県が真つ直ぐに結ばれ、「県政発展と地域振興」が達成できますよう今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



# 新しい時代へ



自民党・県民クラブと後藤新知事との意見交換会



自民党・県民クラブと横内知事執行部との意見交換



中部横断道



大同バイパス開通式



鹿島・落合トンネル建設へ向けて

います。

川三郷線の整備も着々と進んで

## 道路網整備

私たちの生活の多様化により交通手段にも多様性が求められています。また、外国人観光客の増大も同様であります。

富士山や静岡空港、リニア甲府駅とのアクセスを良くすること



県道笛吹市川三珠線の改良工事

## 英語教育強化地域拠点

...それぞれの研究開発課題を实践



芦川護岸改修工事が始まっています。2024年までの計画で芦川橋の架け替えも計画されています。下流域の安全確保と芦川の川渡りなどの伝統ある行事が行われる親水性確保、地域の皆さまが不利益を生じないように努めてまいります。

## 市川三郷教育

市川高校とともに100年の歴史を誇る市川三郷町の教育環境は充実しています。翌年度より、小・中・高校が連携した実践的な英語教育を推進する「英語教育強化地域推進事業」に指定され更なる飛躍が期待されます。

## 芦川護岸改修



# 県政課題への取組

## 2月議会で決まりました

- 富士山世界遺産関連予算
- 地域医療介護関連予算
- 地方創生関連予算 他

## 地方創生 注目の事業

経済政策の規模は、61億円余り

- 起業創業促進事業
- 醸造用甲州種栽培情報マッピング事業
- 薬草栽培トライアル事業
- バス交通利用円滑化推進事業
- 眺望ポイント環境整備事業
- 防災まちづくり検討事業
- 地域消費喚起等支援交付金
- 森林整備加速化・林業再生事業



### ● 結びつき

年始から、消防団出初式、成人式と重要な行事が続きます。皆さま方の凛々

しいお姿に感動し、関係者に敬意と御礼を申し上げます。

### ● 手渡きの卒業証書

市川小学校では、卒業生二人ひとりが自分の卒業証書紙を自分で渡く取り組みが市川和紙技術研究会により引き継がれています。今年で34回と長く引き継がれ、町内全ての小学校と市川高校でも手渡し和紙による卒業証書が授与されています。

地域の誇りと伝統を自分自身で体験してもらいたい出を抱いて成長する子どもたちであつて欲しいと願うものです。



### ● 豪雪災害への取り組み

昨年の豪雪災害における農業被害へは、最大限の支援体制が講じられました。市川三郷町内の被害へも撤去や資材購入などの復旧策の他、JA西八代や農務事務所が中心となり、生産や意欲が低下しないよう配慮し取り組んでくださいました。

しかし、全県では、撤去87%再建27%(27年1月調査時)となつていて副数年での復旧支援策の必要性を痛感しました。今、議会で実現しました。

